

船員を目指す高校生と保護者に船員の仕事を説明しました

鳥取運輸支局境庁舎は、中国地区内航船員対策協議会の協力を得て、鳥取県立境港総合技術高等学校の三者懇談の日程に合わせ、7月16日（木）、17日（金）、20日（月）の3日間、船員へ就職を希望する海洋科1年生から3年生までの生徒及びその保護者に対する面談による船員確保の取組みを行いました。

説明役には、上記協議会に加盟する中国地方海運組合連合会及び日生地区海運組合傘下の内航事業者が日替わりで参加し、三日間で1年生から3年生まで計20組の親子と面談を行っていただきました。

面談では船での操船以外の仕事は何か、海技資格の取り方、引越が必要かなど、事前に配布していた冊子やDVDで確認できない部分を、生徒よりも保護者自身が納得するまで説明を求められ、むしろ生徒の方が聞き役といった状況でした。

また、船員に就職を決めている3年生には、就職後に現実とのギャップに悩まないためにも、就職を希望する会社の船員に直接会ってみよう丁寧なアドバイスがあり、親子ともに納得した進路に結びつくことを期待しています。

